

パウダーレスインキ「キレイナ」の実力 (広告)

20. 上質紙で活躍 [三栄印刷]

JR 博多駅から車で 10 分ほどのところに三栄印刷(株) (金子武史社長, 社員 25 人, 1963 年設立) がある。

同社は、社員数から見ると小ぶりな一般商業印刷会社だが、印刷事業に加え大手企業に負けない、たとえば次のような取り組みを行っている。

- ・名刺や DM 発送などを行っているため、プライバシーマークを取得
- ・日本印刷産業連合会の環境優良工場奨励賞、その後、日産連特別賞受賞
- ・印刷物に GP マークを表示できる同連合会のグリーンプリンティング工場認定取得など。

上質紙での乾燥を早めたい

三栄印刷も多くの印刷会社同様、パウダーによるトラブルや品質低下に以前から悩んでおり、減らすための取り組みを行っていた。しかし、それ以上に印刷の乾燥アップに取り組んでいた。

「マットコート紙の印刷で棒積みをしたい」と乾燥が良く、被膜の強いインキを T&K TOKA に要望していて、同社の「スーパーテック GT DK」を使い、棒積みができるようになった。乾



キレイナを使う B2判4色機と足立氏

燥も上がり、マット紙での擦れも軽減された。

一方、上質紙のカラー印刷で乾燥が遅い状況は続いていた。三栄印刷では、上質紙で、絵柄も比較的重いチラシも多く、数万部、数十万部の両面カラー印刷の仕事が少なくないそうだ。同社では、片面4色機で両面4色カラーに対応するのだが、先刷り面のインキの乾燥が甘く、インキが圧胴に取られるトラブルも多かった。随時圧胴の洗浄が必要で、この手間をなくし、トラブルを減らして効率を上げたかった。

2015年春ごろ、T&K TOKA の営業から「キレイナ」の提案があった。提案はもちろんパウダーレス、パウダー削減であった。しかし、三栄印刷はその効果より、乾燥が従来より早い点に共感し、B2判4色機のオペレーターである足立氏はすぐに導入し使い始め、その感触を確認した。

完全なパウダーレスにはならないものの、削減効果があることは実感でき、さらに乾燥アップも体感でき、現在に至っている。

キレイナをすべての仕事で使いたいが、インキ単価が多少上がるため、コート紙やマット紙は現在でもスーパーテック GT DK を使っている。

今まで取材してきた印刷会社の多くは、仕事の多いコート紙でキレイナを使用することで高いパウダー削減効果を受け、印刷機の清掃時間の削減を図ったり、上り面印刷までの待ち時間の短縮などのメリットを享受し、パウダー削減効果の少ない上質紙では従来のインキを使っていることが多かった。しかし、三栄印刷では上質紙での乾燥優先でキレイナを使っている。

印刷会社は、それぞれ独自の方針により、「ベストワン キレイナ」の特徴を活かして利活用している。

安心感

現在、キレイナを使ってパウダーの散布量は従来の2分の1程度になり、会社としてもその結果を喜んでいる。足立氏によると、それ以上に乾燥アップによって数万枚の上質紙の印刷でも先刷り面のインキが圧胴に取られないので、安心感があり、手放せないとのことだ。

一方、乾きが良いという弱点(?)もあるそうだ。従来のインキであれば、インキツボにインキを残したまま次の日を迎えるのだが、キレイナでの印刷がその日の最後になると、乾きが良いのでインキツボを洗って翌日を迎えるとのことだ。

実際、キレイナは紙面でのインキ乾燥を早めるために、従来では当たり前になっていたオーバーナイト性を付与できず、セミオーバーナイト性程度となっている。使わないときには乾かなくて、印刷後はすぐに乾いてほしいという、印刷ならではの悩みだ。

替える手間以上の効果

上質紙の仕事が多いように見える同社だが、カラー印刷の用紙の割合は、マット紙7、コート紙3、

上質紙2程度と、あまり多くはない。その上質紙にキレイナを使っているのだから、あまりキレイナ効果は期待できないと思える。しかし、デザイナーが上質紙の質感を重視したイベントチラシのようなものは、通し枚数が5万、10万になることもあるそうで、前述の通りキレイナの効果は絶大である。

マット紙、上質紙、コート紙などの印刷の順番になると、上質紙で一度キレイナに取り替え、コート紙の仕事では再度スーパーテック GT DK に戻す。間の上質紙の仕事は従来インキでも良いと思えそうだが、入れ替えの手間以上にキレイナの効果を認めているので、キレイナを使っているようだ。

また、名刺などオフセット印刷でベースを印刷し、オンデマンド印刷機で名前を追い刷りするような仕事も少なくないそうで、パウダーが極力ない状態が望まれる。そのような場合も、キレイナが活躍する。取材時は、印刷機の排紙部分もパウダーがほとんどなく、またデリバリへの立ち上がり部分もパウダーが少なかった。

従来インキとキレイナをその都度切り替えて使っているが、今後、コスト的な問題が解消されてくれば、すべてのインキがキレイナに切り替わり、よりキレイナのメリットを享受できそうだ。

(つづく)

革新的なパウダーレスインキ「ベストワンキレイナ」

BEST ONE
KIREINA®

2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。

GOOD DESIGN
AWARD 2016

T&K TOKA®

株式会社 T&K TOKA <http://www.tk-toka.co.jp>
TEL 049-258-1611(代表) 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1 〒354-8577